

# とても良い経験ができた



上塚小六年  
浅野良太

八月一日の午前七時半に役場に集合してバスにのって出発し、羽田空港に行きました。飛行機は、日本エアーステム135便でした。

二時間位で釧路に着き、昼食をして厚岸町に行きました。夕べのつどいや夜食、入浴をして楽しみにしていた自由時間もありませんでした。いろいろなあそび道具がありました。とてもよいシステムでした。

二日目は、六時半におきて七時半から朝のつどいをやりました。自然体験では、地引き網をしていろいろ小さな魚や大きな魚がとれました。その時の昼食は、見たことのない料理で、その中に入っていたお魚がとてもおいしかったです。次は、小さな川でカヌーこぎ

をしました。五年生の子といっしょに乗って、とても楽しかったです。でも、カヌーはむずかしかったです。それは、かたほうの力が入りすぎて、向きがかわってしまうから。でも、ぼくたちは、そのうちなれてきました。思いどおりになると楽しくなってきました。とてもよい経験をしました。

カヌーが終わってから、水鳥観察館を見学しました。いろいろな鳥の絵がありました。そのあと一度自然の家にもどり、水着を持って温水プールに行つて遊んできました。横芝にもこんなプールがあったらいいなと思いました。

プールから帰ってきて、夕べのつどいをやりました。そのあと、夕食を食べて工作室で七宝焼をしました。ガラスのこなをキーホルダーにぬつたり、みがいたり、とてもむずかしかったです。でも、少しはうまくできあがりました。その日の夜は、つかれてぐっすりねむってしまいました。明日から北海道ともお別れだと思つと、ちよつとがっかりしました。でも、友達がたくさんできて本当によかったです。この夏休み、とてもよい経験ができました。



地元子どもたちの地引き網は大漁でした

# 広大な草原に感激



横芝中一年  
勝又友幹

「北海道にやつと着いた。」「すごく涼しい。」「飛行機に一時間三十分ぐらいゆられてやつと釧路空港に着いた。空港で昼食をすませ、厚岸少年自然の家へ向かった。行く途中には、草原が広がり、牛や馬が群がっていた。私は限りなく広がる草原を見て「なんて広いんだろう。」「と思った。私の住んでいる横芝には草原がなかったので、その

ぶん喜びが大きかった。次の日は、まず海に行き海に入った。「冷たい」。北海道の海はとても冷たかった。2日目となれば友達もたくさんできた。そのあと地引き網をした。魚がいっぱいとれた。そのあと北海道の人が、サケの丸焼きを食べさせてくれた。横芝の方では食べられないものなので、とてもおいしかった。その後川に行きカヌーをした。私は初めてだったのでドキドキしていた。カヌーで川を下った。水はとても冷たかった。他のカヌーにもぶつかりたいへんだったけれども、目的地に着いたときは、「とてもうれしい。」と思つた。「やつと着いた。」始めはドキドキしていたけれど、やつとみるととても楽しかった。少年自然の家に着いて夕食をすませ七宝焼をした。初めはどんな物ができるかと思つてた。自分のやつた物が焼き終わつたとき心の中で「やつた」。」「やつとできた。」ともうれしかった。それは大事にしようと思つています。一つの北海道の記念として大事にしようと思つた。

二泊三日の短い間に、いろいろな体験をしたりして、たくさんの友達をつくりとても楽しかった。最後にジーンズスカンを食べた。とても楽しくいい体験をしました。本当によかった。